



平成22年度横須賀市エイズ予防・普及事業
12月1日は「世界エイズデー」です



「若者になぜ HIV 感染が広がっているのか!？」 ～性的指向と健康問題～

講師: ① 宝塚大学看護学部 准教授、厚生労働省エイズ動向委員会 委員

日高 庸晴(ひだか やすはる)先生

② かながわレインボウセンター-SHIP

代表: 星野 慎二(ほしの しんじ)先生、ゲイユース(高校生)

日時: 平成22年12月22日(水) 15:30~17:00

場所: ヴェルクよこすか ホール

横須賀市日の出町1-5 TEL046(822)0202

* 駐車場が限られていますので公共交通機関をご利用下さい。

定員: 200名 (10月25日8:00から申込を受け付けます)

性的指向が同性の高校生が、幼少期から、小学校に入学し、中学、高校での様々な思いと実際の体験を語ってくれます。そして、遠く関西から、日高先生を横須賀にお招きし、セクシャルマイノリティーのメンタルヘルスと依然増え続けているエイズ感染の最新情報についてお話をいただきます。なぜ、この二つが関連があるのか・・・、是非みなさんで考えていただきたい課題なのです。思春期～小学校高学年から高校にかけての心の健康支援が、自殺予防や性感染症予防行動の実践において1番重要になります。

次に、SHIP 代表の星野さんより、SHIP の日頃の活動から見てきた学校の先生や家族の方からの相談の実情等について紹介していただきます。

暮れも押し迫る忙しい時期ではありますが、どうぞふるってご参加ください。

日直

性的指向って何かしら?



エイズって、私たちに関係ないよね?!

日高庸晴先生プロフィール

筑波大学大学院修士課程修了後、カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部エイズ予防研究センターに研究員として勤務。帰国後、京都大学大学院医学研究科博士後期課程に在籍、博士号取得。また、財団法人エイズ予防財団リサーチレジデントおよび流動研究員として国のエイズ予防対策研究事業に従事したのち、京都大学大学院医学研究科非常勤講師、関西看護医療大学看護学部講師を経て現職。

申し込み

横須賀市コールセンター 8:00~20:00

TEL 046(822)2500 にお申し込み下さい。

(定員になり次第、もしくは12月19日(日)20:00で締め切ります)

問い合わせ

事務担当は 横須賀市保健所健康づくり課

感染症担当 梶・齋藤 TEL 046(822)4317

